

令和4年度 こども園（保育園）関係者評価

施設評価シート

子育てセンターみなみしま

こども園（保育園）関係者評価委員会による評価

対象評価： 最終評価

評価日時： 令和5年 2月 6日（月） 9:30 ~ 11:00

【こども園（保育園）関係者評価委員会構成】

学識委員 1名 地域委員 1名 保護者委員 2名

【園の教育・保育目標】

【自分でいいな・友だちっていいな・一緒に遊ぼう】

【本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した
こども園（保育園）評価の具体的な目標や計画】

- ・全職員が同じ参考文献で心の成長過程を学び、子どもの様々な言動を肯定的に捉える力を身に付けていきます。
- ・子ども一人ひとりの発達段階や個性を理解し、個々に合わせた対応を心掛けます。

【評価基準について】

- 4・・・十分に達成されていた
- 3・・・ほぼ達成されていた
- 2・・・取り組みは見られるが達成が十分ではない
- 1・・・取り組みが不十分であった

項目	園評価	評価理由	最終評価	評価委員から
I. 目標の理解 1. グランドデザインを理解している 2. グランドデザインを意識している 3. 重点目標を意識している 4. 重点目標を意識して取り組んでいる	3	・グランドデザインの存在については、以前より研修等で職員に周知されているが、意味や内容についてを全職員が把握できているわけではなかった。 ・重点目標についての理解が不十分で、重点目標を踏まえた上で各年齢の計画書が作成されていると言い切れない。 ・もう一つの大きな目標である「夢中になれる子」を意識した教育・保育計画書が立案されていた。	3	○参観させていただく中で、園での活動は統一性が図られているように感じる。 ○年長児において、先のできた子が他の子どもの小先生の役になることもあり、面倒見の良い子に育っていると感じる。 ▲園での自己評価において「重点目標についての理解が不十分」とされているので、今後の改善を期待して評価を「3」とした。
II. 教育・保育の計画性と内容 1. 指導計画の作成 2. 環境への配慮 3. 教育・保育活動の実践 4. 計画と実践の評価・反省	4	・指導計画については、遊びの連続性や各年齢を育ちを意識した立案を心掛けている。また、子どもの興味や意欲に合わせた活動が行えるよう、主幹保育教諭が全ての計画書に目を通し調整を行っている。 ・クラスごとの部屋がなく、じっくり遊び込めない時がある。園庭遊びも時間で区切られ、他クラスと合同使用のため、思いきり体を動かして遊べない時がある。その時はボールやフラフープを使い、ルールを決めて年齢問わず遊べるものを提供した。	3	○発達段階に応じた活動が展開されているように感じる。 ○お互いにお互いのことを見られるようなオープンな雰囲気になりたいとの開園当初の思いは引き継がれている。 ▲ただし、小学校との接続という視点で考えると、朝の会や帰りの会など、決まった場所で決まった席で整然と行うといった場面も必要ではないかと感じることもある。

<p>Ⅲ. 子どもにとっては</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. その子らしさが認められる 2. ゆったりとした生活 3. 自然に触れて心行くまで遊ぶ 4. いろいろな人の中で自分を知る 	3	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍により、地域の方との交流はほぼ持たなくなってしまったため、実際、散歩先で出会った方にご挨拶をする程度に留まっている。七夕の飾りをご近所の方に頂いたり、地域の田畑をお借りしたりなど、触れ合いだけでなく様々な形で交流を目指していきたい。 ・防災訓練や避難訓練を月に1度行うことで、自然の恐ろしさを伝えている。 ・朝寝番は異年齢保育を行っているため、自然と異年齢での関わりが多くなり、子ども自身自分の役割を自然と身につけている。 	4	<ul style="list-style-type: none"> ○防災訓練、避難訓練をしっかりと実施していただいております、子どもたちにも身につけている。 ○様々な体験を行う機会があり、行事が工夫されていることがよく分かる。 ○安全性にも十分に配慮され、子ども自身に気づかせる仕掛けも多くなりました。
<p>Ⅳ. ファミリーにとっては</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 気軽に相談できる 2. いつでも保育に参加できる 3. 必要な情報が得られる 4. 保育を通して地域に親しむ 	3	<ul style="list-style-type: none"> ・笑顔で挨拶を心掛け、話しかけやすい・相談しやすい雰囲気作りをしている。 また、個々の様子はおまかせ保育、連絡帳への記入等でお知らせしたり、保護者の顔を見て声を掛けることを心掛けている。 ・必要な情報について、就学に向けた園としての取り組みは、各年齢で十分に発信できているとは言えない。また子育てに必要な情報の発信についてだが、まんでんや広報誌以外のものを考えると不十分だといえる。 	4	<ul style="list-style-type: none"> ○過予定など、保護者に対して詳細に知らせてくれている。 ○保育内容に好意的な意見を持った保護者が大半である。 ○保護者からの意見にも誠実に対応しようとする姿勢が見られる。
<p>Ⅴ. 地域にとっては</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 誰でも親しく訪ねられる 2. 園の内容がよくわかる 3. 緊急の時頼りになる 4. 子育てに夢がもてるように 	3	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に開かれた園のため、地域の親子が利用しやすい雰囲気作りを心掛けている。 また子育て情報誌や様々なツールで情報発信を行っている。日頃の教育・保育の様子をブログなどで発信しているが、保護者からは不足との声もある。ブログに関しては、在園していない地域の親子の閲覧があるかどうかの確認ができない。 ・コロナ禍により、地域の親子に対して園庭の開放を行っていない。 	4	<ul style="list-style-type: none"> ○老人会など様々なところに声を掛けており、開かれた園づくりを目指していることを感じることができる。
<p>Ⅵ. スタッフにとっては</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 個性が活かされる 2. 快適な職場づくり 3. 生活や遊びの文化が伝えられる 4. 視野を広げて自ら学ぶ 	3	<ul style="list-style-type: none"> ・相手に関係なく、明るく・気持ちの良い挨拶を心掛ける職員が多い。また、アンテナを高く持ち、子育てや園関連の情報に興味や関心を持つ職員も多い。 ・職場環境において、業務に追われて棚の上の片付け等整理整頓ができてない時がある。日々の点検や教材整理を気持ち良く行えるようにしたい。 ・消毒については毎日欠かさず、どのクラスも丁寧にしている。 ・自己研鑽の研修参加はなるべく参加しているが、外部研修になると時間も合わず、集合型など条件が合わず、できない時も多い。 	4	<ul style="list-style-type: none"> ○参観の中で、職員同士で声を掛けあいながら子供の保育にあたっている姿を見ることができた。 ○日頃から、安心して子どもを預けられる雰囲気がある。